

FAX・メール送信

石 障 ス 第 1 1 号
平 成 2 8 年 5 月 1 8 日

県保健福祉センター所長 様
県こころの健康センター所長 様
市町障害者福祉担当課長 様
市町身体障害者福祉協会長 様
障害児・者福祉施設長 様
特別支援学校長 様

石川県障害者スポーツ協会
会 長 紐 野 義 昭
(会長印省略)

平成28年度「障害者の一日スポーツ教室」の参加者募集案内について

時下、貴職には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当協会の事業運営等には、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記大会開催につきまして、参加者の募集について格別のご配意を賜りますようお願い申し上げます。

記

送付内容（計6枚）：本状（3枚）及び能登・加賀教室申込書（各1枚）

- 1 大会名称 「障害者の一日スポーツ教室」
…(種目)吹き矢・卓球バレー・バグー
- 2 主 催 石川県・石川県障害者スポーツ協会
- 3 日時・会場名 ※居住地区により、参加会場が異なります。
【能登地区】教室 日時：6月21日（火） 場所：かほく市河北台健民体育館
参加資格：津幡町・内灘町以北に居住する障害児・者
【加賀地区】教室 日時：6月23日（木） 場所：小松サンアビリティーズ
参加資格：金沢市以南に居住する障害児・者

※参加資格地区の参加ができず、（能登⇄加賀）地区変更希望のある方は
事前に事務局へご連絡下さい。

- 4 申込提出期限 6月13日（月）必着。参加申込書は、持参・郵送・FAXで受付。
- 5 参 加 費 1人 500円（受付時、徴収させていただきます）
- 6 開 催 要 項

「要項及び参加申込書」は、当協会 HP よりダウンロードして下さい。

なお、FAX・メール送付を希望される方は、事務局までご連絡下さい。

石川県障害者スポーツ協会 事務担当：山田 圭一

TEL：076-264-3135

FAX：076-264-3136

E-mail：i-sho-spo@po4.nsk.ne.jp

<http://i-sho-spo.sakura.ne.jp/>

「バグゴ（BAGGO）」の紹介

① バグゴとは・・・

離れて設置したプラスチックボード目掛けてビーンバッグを投げる的入れゲームです。ルールがわかりやすく、スポーツというよりはゲーム的志向が強い、シンプルな競技。場所を選ばず、室内でも屋外でも楽しめます。携帯性に優れていて、設置も簡単です。運動量も適量なので、子どもから高齢者、車椅子の方も楽しめるスポーツです。また、世代の隔たりが無いので、多世代型スポーツとしてレクリエーションに最適なニュースポーツといえます。

② バグゴのルールと遊び方

用 具：専用傾斜ボード・ビーンバッグ・

距離設定用のひも

場 所：屋内・屋外

人 数：2名以上

運動の強さ： ★☆☆☆☆

※教室では、
4名以上で実施



競技時間の設定はありません。1チーム2人、2チームでゲームを行います。ジャンケンで勝ったチームが先攻か後攻、または投げるポジションを決めます。

ボードをめがけてバッグを投げゲームスタート。

投げる際にスローイングラインを踏み越えてはいけません。

ホールに入った場合は3点、ボードの上に乗った場合は1点となり、さらにボード上のビーンバッグと一緒に穴に入れた場合は6点のボーナス得点となります。どちらかが21点先取するまで続けます。（時間設定した場合は11点先取にしたり、ラウンドを規定してどちらのチームが得点を取るかによって勝敗を決める場合もあり）

第2ラウンドは選手交代して、マトになるボードも替わります。

第1ラウンドで得点の少なかったチームが「後攻」で、投げるポジションを決められます。

あとは、第1ラウンドと同様にプレイします。

縦86×横56×厚さ6cm（収納時）と、持ち運びに便利なため、ちょっとしたパーティーなどにも重宝します。

バグゴの基本用具

品 名：バグゴセット（品番 GGB001）

素 材：プラスチック

サイズ：縦86×横56×厚さ6cm（収納時）重量 8.6kg

生産国：アメリカ



●傾斜ボード2枚、ビーンバッグ青4個、赤4個 距離設定用ひも1本

※購入は、スポーツ店、又は、インターネット検索して下さい。

「卓球バレー」の紹介

卓球バレーとは、バレーボールをヒントに卓球台を使って、障害者と健常者の区別なく 誰でもが楽しめるスポーツとして考案されました。通常の卓球と大きく異なる点として以下のものが有る。

- 卓球台を6人1チームで2チームの計12人で囲む。
- ネットをピンポン球の直径の1.5倍ほど上げて、台とネットの間にピンポン球を通して打ち合う。
- 通常のラケットは高さ5cm×幅30cmの大きさの長方形をした木製の板です。
- バレーボールの様に3打以内で相手コートに返す。
- 6人のうちネットに1番近い2人をブロッカーと呼び、攻守の要となる。
- 他の4人はサーバーと呼び、主にレシーブやトスを行い、サーブはこの4人が順番に行う。

卓球バレーの歴史は、京都市立「鳴滝養護学校」で、片山美代子元校長先生が教員在職中に、近畿の筋ジス関係校のスポーツ交流の種目として、当時の関係校の職員と共に試行錯誤を繰り返しながら発案され、1974年(昭和49年)の、「第5回近畿筋ジストロフィー症児交歓会スポーツ交流会」から、競技が実施されるようになりました。

京都では、1976年(昭和51年)から重度の障害のある人も楽しく、団体でできる競技として、卓球バレーが身体障害者のスポーツ研修会で紹介されました。以後、京都障害者スポーツ振興会を中心に重度の障害のある人のスポーツとして、京都府全域に広められました。

1981年(昭和56年)、国際障害者年を記念して「全京都身体障害者スポーツ大会 卓球大会の部」の一種目として団体戦に取り入れられ、益々盛んになりました。さらに1987年(昭和62年)には、「第1回全京都共同作業所対抗卓球バレー大会」が実施されるようになりました。また、1987年(昭和63年)の「第24回全国身体障害者スポーツ大会」では、公開競技として全国に紹介されました。

1988年(平成元年)からは、「全京都障害者総合スポーツ大会 卓球バレー大会」として独立して開催され、参加チームは100チームを超え、参加者も1,000名を超える大会として毎年開催されています。

今では、京都市をはじめ京都府下の各地域で、地区ごとの大会も開催されています。京都以外では、愛知県、愛媛県、大分県などで大会が行われています。

現在は、国内での競技の普及・発展を目指し活動を行っています。



用具は、専用ネットセット(アンテナ付き)、ラケット12本(ベルト付き)、サウンドボール6個、「競技規則と解説」(日本卓球バレー連盟版)1冊セット。

◆問い合わせ先◆ 大分県卓球バレー協会事務局 堀川 以下、申し込み方法優先順位です。

①メール:sido@ooitamejiro.jp

②Fax::0977-67-0453

③Tel:(平日の17時まで):0977-66-0277

④携帯:080-5258-0571